日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

https://ken-nonoyama.com/　mail@ken-nonoyama.com

No.705 2023.12.21

日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22
ご相談はお気軽に 090-2156-3510

企業・団体献金は全面禁止に

日本共産党が参議院に「企業・団体献金全面禁止法案」を提出

自民党派閥による底なしの政治資金パーティー不正疑惑が噴出する中、日本共産党国会議員団は5日、参院に「企業・団体献金全面禁止法案」を提出しました。

パーティー券の購入も禁止に

同案は、企業・団体献金による寄付を禁止するとともに、政治資金パーティー収入を寄付とみなすことで、企業・団体によるパーティー券購入も全面的に禁じる内容となっています。また、パーティー券購入の公開基準を現行の20万円超から5万円へ引き下げるとしています。

こうした提案ができるのは、日本共産党が企業・団体から一円の献金も受け取っていない政党だからです。

真相究明とともに根本解決を

繰り返される「政治とカネ」の問題。今度こそ、真相究明とともに金権腐敗の構造に抜本的なメスを入れるべきです。（裏面に関連記事・のの山けん）

参院事務総長に法案を手渡す日本共産党参議院議員団　＝5日、国会内

日本共産党北区議員団ニュース 新春号ができました

日本共産党北区議員団は、11・12月に開かれた区議会第4回定例会での論戦と成果を紹介する「日本共産党北区議員団ニュース新春号」を発行しました。

定例会開会前に提出した新年度予算要望書に含まれる区民要望も、一部が先行して実現へ。ぜひお読み下さい。（のの山けん）

繰り返される「政治とカネ」問題の根底に横たわる

歴史的な“腐敗構造”にメスを

自民党によるパーティー券裏金づくり疑惑は、国民の怒りを呼び起こしています。これまでも繰り返されてきた「政治とカネ」をめぐる問題の根底には歴史的な〝腐敗構造〟があります。

１９９０年代初頭に、リクルート事件、ゼネコン汚職などの金権腐敗事件が相次ぎ、その中心にあった自民党は政権から退場を迫られました。ところが、93年に誕生した非自民の細川連立政権は自民党と談合し、「政治改革」と称して小選挙区制や政党助成金制度の導入を強行、政治腐敗の根源である企業・団体献金は、政治家個人に対するものを禁止としましたが、政党や政党支部への献金は容認し、パーティー券購入による事実上の献金という大穴を残しました。自民党はこの大穴を使って、巨額の裏金づくりをシステム化させていったのです。

パーティー券購入も含め企業・団体献金を全面的に禁止することこそ、真の解決策です。（のの山けん）

細川政権による「政治改革」(1994年)の問題点

「改革」の名で小選挙区制・政党助成金を導入

自民党との談合によって「政治改革」を小選挙区制と政党助成金制度の導入にすりかえ。

企業・団体献金に抜け穴

①政治家個人に対するものは禁止したものの、政党や政党支部への企業・団体献金は容認。

②企業・団体によるパーティー券購入という事実上の企業・団体献金の大穴が残された。

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会は

まちづくり懇談会を早期に開催し計画に住民の声を反映させよ

タワーマンション誘致の再開発か、赤羽小学校・赤羽公園・一番街などの飲食店街を残す修復型まちづくりかが問われる赤羽駅東口のまちづくり基本計画。本来ならば、地元住民の声をまとめ、策定検討会に「まちづくり提案」を行うべき赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会の活動が停滞しています。

いま協議会が提起すべきは、基本計画策定検討会に住民の意見を反映させるため、誰もが参加でき自由に意見を言える場を保障すること。「まちづくり懇談会」を早期に開催するよう求めます。（のの山けん）

今年7月を最後に、赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会の活動報告の更新が途絶えている北区ホームページ